

## 光回線の乗り換え

### 契約内容の確認を

(2015年6月23日掲載原稿)

光回線サービスの契約変更に関するトラブルが寄せられています。通信事業者の電話勧誘に注意しましょう。

NTTの光回線の利用者は、2015年2月から「転用」という手続きにより、工事の必要もなく、他の通信事業者に簡単に乗り換えることができるようになりました。

利用者がNTTから「転用承諾番号」を取得し、その番号を新しい事業者に伝えます。すると、それまでの「お客様ID」や「光電話番号」を変更することなく、契約先を乗り換えられる—というものです。

「転用」手続きの開始により、多くの通信事業者がサービス変更の勧誘を行い始めました。それに伴い、利用者が契約内容を十分理解しないまま変更手続きが完了してしまい、トラブルになるケースが多く見られます。

「転用」手続きで契約先を乗り換える際の注意点を紹介します。

- ① オプションサービスは、乗り換え先の事業者によって異なるため、現在のサービスが利用できなくなる場合があります。
- ② 現在のプロバイダーとは契約解除の手続きが必要となる場合があり、通常は解約料が発生します。
- ③ メールアドレスが変更になる場合があります。
- ④ 乗り換え後に再びNTTに戻す場合、契約解除料が発生する、電話番号が変わる、新規工事が発生する—などの負担が生じます。

通信回線契約は、特定商取引法のクーリング・オフ制度が適用されません。「利用料が安くなる」と言われて安易に契約せず、事前にサービス内容や契約条件を十分確認し、慎重に判断しましょう。